

令和五年学力検査

全日制課程

第一時限問題 国語

検査時間 九時十分から九時五十五分まで

「解答始め」という指示があるまで、次の注意をよく読みなさい。

注 意

- (一) 解答用紙は、この問題用紙とは別になっています。
- (二) 「解答始め」という指示で、すぐこの表紙に受検番号を書きなさい。続いて、解答用紙に氏名と受検番号を書き、受検番号についてはマーク欄も塗りつぶしなさい。
- (三) 問題は(1)ページから(9)ページまであります。(9)ページの次からは白紙になっています。受検番号を記入したあと、問題の各ページを確かめ、不備のある場合は手をあげて申し出なさい。
- (四) 答えは全て解答用紙のマーク欄を塗りつぶしなさい。
- (五) 印刷の文字が不鮮明なときは、手をあげて質問してもよろしい。
- (六) 「解答やめ」という指示で、解答することをやめ、解答用紙と問題用紙を別々にして机の上に置きなさい。

受検番号	第	番
------	---	---

国語

— 次の文章を読んで、あとの(一)から(五)までの問いに答えなさい。

[1]

[2]

著作権保護のため、
本文を非表示にしています。

[3]

[4]

著作権保護のため、 本文を非表示にしています。

(注)

- 1 5は段落符号である。
- 安寧 〓 穏やかで平和であること。
- 殺伐 〓 すさんでいるさま。
- 反割 〓 ここでは、二つのことを繰り返し思い、考えること。
- モスク 〓 イスラム教の礼拝堂。
- 数珠つなぎ 〓 多くのものをひとつなぎにすること。
- 蔓延 〓 広がること。
- 扉 〓 開くこと。
- 止揚 〓 対立する二つのものを高い段階で統一すること。
- 拮抗 〓 はば同じ力で互いに張り合うこと。
- 剪定 〓 枝の一部を切り取って整えること。
- ラグジュアリー 〓 ここでは、空間から感じられる心地よさのこと。
- しつくい 〓 日本建築の壁や天井などに使用される塗料の一つ。

(一)

「A」にあてはまることばとして最も適当なものを、次のアからエまでの中から選びなさい。

ア しかし イ それとも ウ つまり エ なぜなら

(二)

人が本来持っているのは自然や環境への感受性^①とあるが、その説明として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選びなさい。

- ア 自然や環境が絶えず変化していくという事実^②に気づく力
- イ 人の活動が自然や環境に負荷をかけていることを感じ取る力
- ウ 自然や環境が変化していく姿を数世代先まで予測する力
- エ 人の活動が自然や環境に与えている負荷をすぐに取り除く力

(三) 次の文章は、ある生徒が第三段落と第四段落の内容をまとめたものである。この文章に対する評価として適当でないものを、あとのアからオまでの中から一つ選びなさい。

人間は、自然をほどほどに受け入れつつ、適度に排除しながら暮らしており、そのバランスを整える営みが掃除である。また、日本の庭は、人為と自然がせめぎ合う「ほどほどの心地よさ」を探し当てることを本質としている。だから、日本の庭は、人為と自然のバランスを整える掃除という営みを、技芸に仕上げたものであると言いうこともできる。

ア 本文にある具体例や比喩を省略して端的に記している。

イ 掃除の本質を述べた部分を本文から適切に抜き出している。

ウ 接続語を使用することで論理の構造を明確にしている。

エ 掃除と日本の庭に共通している点を的確に述べている。

オ 日本の庭が技芸に仕上げられた理由を簡潔にまとめている。

(四) 次のアからエまでの中から、その内容がこの文章に書かれていることと一致するものを一つ選びなさい。

ア 環境に現れた危機の予兆に接した私たちは、地球という資源の限界に気づき、持続可能な社会について考えるようになった。

イ 掃除という営みと切り離せない日本の庭は、日本的な他者への思いやりを表現しており、海外でも高く評価されている。

ウ 環境問題を解決するためには、文化や文明の力を最大限に引き出し、人為と自然のバランスを回復させる必要がある。

エ 日本の空港で居心地の良さを感じるのは、床が隅々まで磨きあげられ、シミひとつない新しさが保たれているからである。

(五) あとのアからオまでは、本文と次の参考文献を踏まえて筆者の考えをまとめたものである。その内容が本文と参考文献に書かれた筆者の考えに近いものを一つ選びなさい。

(参考文献)

著作権保護のため、
本文を非表示にしています。

(注) ○ 欄干＝人が落ちないように橋の両縁に設けられた欄状のもの。
手すり。

ア 本文も参考文も、自然の猛威から人々の生活をいかにして守るか
ということが共通のテーマになっている。
イ 本文も参考文も、人工的なものはできるだけ排除して自然を後世
に残そうという考えが柱になっている。
ウ 「庭」も「沈下橋」も、自然のもつ荒々しさを受け入れて環境を
整えながら生きる暮らしを象徴している。
エ 「沈下橋」は「庭」とは異なり、自然の猛威から逃れようとする
ことのむなしさが表現されている。
オ 「庭」と同様に「沈下橋」は、自然との共生を図りつつデザイン
性を高めることを意図して作られている。

二 次の(一)から(三)までの問いに答えなさい。

(一) 次の文中の傍線部①、②に用いる漢字として正しいものを、それぞ

れあとのアからエまでの中から一つ選びなさい。

①② ヒヨク ① 肥 ② ア 溶

③ イ 披 ④ ウ 非 ⑤ エ 比

⑥ ア 溶 ⑦ イ 翼 ⑧ ウ 翌 ⑨ エ 沃

(二) 次の文中の傍線部と同じ意味で用いられている漢字として正しいも

のを、あとのアからエまでの中から一つ選びなさい。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

(三) 次の文中の「A」にあてはまる最も適切なことばを、あとのア

からエまでの中から選びなさい。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

三 次の文章を読んで、あとの(一)から(六)までの問いに答えなさい。

[1]

「……」

[2]

著作権保護のため、
本文を非表示にしています。

[3]

「……」

著作権保護のため、
本文を非表示にしています。

(注) ○①⑤は段落符号である。

- 眉根 〓 眉の鼻に近い方の端。
- 納戸 〓 物置部屋。
- 超音波風速温度計 〓 超音波を利用して風速と温度を測定するもの。
- せきを切る 〓 抑えられていたものが一気にあふれ出る。
- きびすを返す 〓 引き返す。後戻りする。
- 目をすめる 〓 片目を細くして見る。
- 雲積雲 〓 空の高いところに浮かぶ、まだら状の雲。うろこ雲。
- 陰翳 〓 薄暗いかげ。

(一) 「A」、「B」にあてはまる最も適當なことを、次のAからCまでのの中からそれぞれ選びなさい。

A いたずらに イ いぶかしげに ウ うっかりと
エ こっそりと オ しなやかに カ とつくりと

(二) ① 自分から水を向けた。とあるが、その説明として最も適當なものを、次のAからEまでのの中から選びなさい。

A 「僕」が和也の絵を見たいと奥さんに申し出たということ
イ 「僕」が藤巻先生と二人で和室に残ったということ
ウ 「僕」が藤巻先生に借りている本の話をしたということ
エ 「僕」が奥さんと和也の姿を目で追ったということ

(三) ② 無言で部屋を出ていった。とあるが、和也がこのような行動をとるまでの心情の説明として最も適當なものを、次のAからEまでのの中から選びなさい。

A 父親に対してわだかまりを抱いていたが、父親が自分を認める発言をしたことをきっかけに心が浮き立った。しかし、絵を持ってきた際の父親の反応に傷つき、その感情は失望へと変化した。

イ 父親に対して卑屈になっていたが、父親が自分を評価していたことを知って自尊心が回復した。しかし、父親の発言が本心ではなかったことがわかり、その感情は落胆へと変化した。

ウ 父親に対して尊敬する気持ちを伝えられずにいたが、父親が自分の認めてくれたことをうれしく感じた。しかし、「僕」と話す父親の親しげな様子に、その感情は憎しみへと変化した。

エ 父親に対して不愉快な気持ちを抱いていたが、気象研究の無意味さを指摘して父親をやり込めたことで心が晴れた。しかし、幼い頃の失敗を持ち出されて、その感情は恥ずかしさへと変化した。

(四) ③ 「わからないひとだよ、きみのお父さんは」という発言に込められた「僕」の心情として最も適當なものを、次のAからEまでのの中から選びなさい。

A 空や雲が大好きだった和也が、実は今でも父親を慕っていることをほほえましく思いつつ、息子に対して素直になれない藤巻先生の思いを代弁しようと思っている。

イ 和也の絵を見たいと言っていたのに、絵を持ってきた和也を無視する藤巻先生の真意が理解できず、自分も和也と同じ気持ちであることを示そうと思っている。

ウ 藤巻先生は気象研究にしか興味がなさそうに見えるが、実は和也の将来を考えており、単純には理解できない魅力をもった人物であることを伝えようと思っている。

エ 幼い頃の和也が空や雲に強い関心をもっていたにもかかわらず、気象学の道を歩ませようとしないう藤巻先生に疑問を感じ、所属する研究室を変わろうと思っている。

(五)

次のアからオは、この文章を読んだ生徒五人が、登場人物についての意見を述べ合ったものである。その内容が本文に書かれていることに近いものを二つ選びなさい。

ア (Aさん)

和也の父親である藤巻先生のユニークな人柄が大変興味深く描かれていると感じます。先生は、気象のしくみを知りたいという純粋な好奇心の持ち主として描かれており、だからこそ、わからないからおもしろいという先生のことばには説得力を感じます。

イ (Bさん)

先生の奥さんは、夫である先生に理解があるのでしょう。先生が和也の気持ちに気づいていないときも、いつものことだと冷静に対応しています。本文に描かれた場面でも、先生が自分の研究分野について一方的に話をするのを当然のことのように受け入れていきます。

ウ (Cさん)

和也は対照的な考え方をもち両親の下で複雑な思いを抱いています。ふだんは陽気で活発な性格ですが、両親に対しては反抗的で、皮肉っぽい言動が目立ちます。時折、甘えた態度は示しますが、いらいらした気持ちを解消することはできていないように見えます。

エ (Dさん)

先生は、和也の気持ちに気がつかないときがあるようです。悪気があるわけではなく、ひとつのことに集中すると他のことに気がまわらないようです。先生はそのことを自覚して反省しているようですが、和也には自分が悪かったという思いを伝えきれていません。

オ (Eさん)

和也に対する先生の態度にはもどかしいところがあります。また、息子から見たら先生はよくわからない人なのでしょう。母親も二人のことを心配しているものの、間をうまく取りもていないようです。家族とはいえ、人と人との関係は難しいものです。

(六)

この文章の表現の特徴として適当なものを、次のアからオまでの二つ選びなさい。

ア 作者からの登場人物への評価を挿入することにより、場面全体に奥行きをもたらしている。

イ 擬態語を随所に用いることにより、登場人物の心情が理解しやすい描写となっている。

ウ 専門的な用語を平易なことばに言い換えることにより、全体を通してわかりやすい印象を与えている。

エ 登場人物の一人が語り手となることにより、読者がその人物の心情を追体験できるようになっている。

オ 隠喩を効果的に用いることにより、登場人物の心情が直感的に理解できるようになっている。

四 次の漢文（書き下し文）を読んで、あとの(一)から(四)までの問いに答えなさい。（本文の……の左側は現代語訳です。）

後漢の魯恭^{こうこう}字は仲康^{ちゅうかう}、扶風^{ふふう}平陵^{へいりやう}の人なり。肅宗^{しやうそう}の時、中牟^{ちゅうまう}の令

扶風平陵の出身である

中牟県の長官

に拜せらる。専ら^①徳化^{とくか}を以て理むることを為し、刑罰^{けいばつ}に任ぜず。郡國^{ぐんこく}に

地方に

螟^{めい}ありて稼^かを傷^{やぶ}ふ。犬牙^{けんが}の縁界^{えんかい}も中牟^{ちゅうまう}に入らず。河南^{かた}の尹^{いん}袁安^{えんあん}之を聞

害蟲^{がいしゅう}が発生して田畑の害蟲は中牟県内に入らなかつた

河南郡の長官であつた

き其の実ならざるを疑ひ、仁恕^{にじょ}の縁^{えん}肥親^{はいしん}をして往いて之を廉^{けん}さしむ。

仁恕という役職にあつた肥親に中牟を視察させた

恭^{きん}阡陌^{せんぱく}を随^{ずい}行^{ぎやう}し、俱^{とも}に桑下^{さうか}に座す。埴^き有り過ぎて其の傍^{かたはら}らに止まる

あぜ道

埴が目の前を通り過ぎて

傍^{かたはら}らに童兒^{どうぎ}有り。親^{おや}曰^いはく、「児何ぞ之を捕らざる。」と。児言^こふ、

埴やはどうしてキジを捕まえないのかね

「埴方に雛^{ひな}を得^える。」と。親^{おや}置^{おき}然^{ぜん}として起^たち、恭^{きん}と訣^{けつ}れて曰^いはく、

置いて立ち上がり

別れる

「来たる所以^{ゆゑ}の者は、君の政迹^{せいしき}を察^{さつ}せんと欲^{ほつ}するのみ。今虫境^{ちゅうけい}を犯さ

理由は

あなたの政政を視察しようと思つたから

ず、化鳥獸^{けふくわい}に及び、堅子^{けんし}に仁心^{にしん}有り。三^{さん}の異^いなり。」と。府^ふに還^{かへ}り状^{じやう}を

子侯にも慰いやりの心が備わつています

以て安^{やす}に白^{はく}す。

報告した

(「要求」による)

(注) ○魯恭・袁安・肥親 いずれも中国古代の王朝である後漢の家臣。

○字 中国で、男子が成年後、実名のほかにつける別名。

○肅宗 後漢の皇帝。

(一) ① 専ら徳化を以て理むることを為し、刑罰に任ぜず。とあるが、その

説明として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選びなさい。

ア 徳の高い人間ではなく、法律の専門家を重んじているということ

イ 人民の徳が高まらないうため、刑罰に頼っているということ

ウ 刑罰に頼らず、徳による教へで世を治めているということ

エ 世の安定よりも、自分の徳を高めることを優先しているということ

(二) 波線部アからカまでの中から、主語が同じものを全て選びなさい。

(三) ② 其の実ならざるを疑ひ。とあるが、何を疑っているのか。その内容

として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選びなさい。

ア 害蟲による被害をまぬがれた県の中で、魯恭が治める県だけは穀

物が実らなかつたこと

イ 魯恭が治める県には害蟲が侵入せず、穀物の被害が生じなかつた

こと

ウ 害蟲が発生したことにより、魯恭が治める県でも多くの人々が飢

餓に苦しんだこと

エ 多くの県が害蟲の対策に取り組む中、魯恭が治める県が最も早く

駆除に成功したこと

(四) 次のアからエまでの中から、その内容がこの文章に書かれていることと一致するものを一つ選びなさい。

ア 袁安は視察に向かった先で魯恭に出会えたことを喜んだ。

イ 袁安は魯恭が治める県が自然の豊かな土地であることに驚いた。

ウ 肥親は子供からひなを守ろうとした親鳥の姿を見て感動した。

エ 肥親は魯恭の善政が県全体に及んでいることに感心した。

(問題はこれで終わりです。)

令和5年学力検査 全日制課程 一般選抜

第1時限 国語正答

問題番号		配点		正答	配点上の注意事項
大問	小問	大問	小問		
一	(一)	7 点	1	ウ	
	(二)		1	イ	
	(三)		2	オ	
	(四)		1	ア	
	(五)		2	ウ	
二	(一) ①	3 点	1	ア	二つともできて1点。
	(一) ②			エ	
	(二)		1	イ	
	(三)		1	エ	
三	(一) A	8 点	1	イ	二つともできて1点。
	(一) B			カ	
	(二)		1	ウ	
	(三)		1	ア	
	(四)		1	ウ	
	(五)		2	ア, オ	どちらか一方ができて1点。 二つともできて2点。
(六)	2	イ, エ	どちらか一方ができて1点。 二つともできて2点。		
四	(一)	4 点	1	ウ	全てできて1点。
	(二)		1	エ, カ	
	(三)		1	イ	
	(四)		1	エ	
合 計		22点			